

青春という名のパイプラインのなかで、ドラマは始まった。



女優の

1962年 夏《南のうねり》

ノ愛

カリフォルニアの海辺の町にはマット、ジャック、リロイを中心とする 若者たちが、サーフィンを通じてグループを作っていた。彼らの夢は水曜 日にやって来るという世界最大の波 "ビッグ・ウェンズデー"に挑戦する ことだった。彼らの楽しみは仲間たちと集まって酒を飲むことと、唯一の ビッグ・ウェンズデーの経験者であるサーフ・ボード作りの名人"ベア" にビッグ・ウェンズデーの話を聞くことだった。

1965年 秋《西のうねり》

やがて、彼らにも激化するベトナム戦争のための徴兵命令が来た。マッ トやリロイ、そしてワクサーたちグループの大半が何とか徴兵を免がれよ うと奇抜なアイデアを考えているのをよそに、優等生のジャックは堂々と 徴兵検査を受け、ベトナムへと赴任していった。そしてワルサーも。ジャ ックの歓送会は盛大に、そして悲しく行なわれた。帰って来いジャック、 俺たちも、海も、サーフ・ボードもお前を待っているぞ……

1968年 冬 《北のうねり》

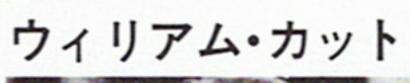
明るく可愛い娘…ペギー そして3年後、ジャックは帰って来た。懐しいカリフォルニアの海へ。 マットとの再会はサーフ・ボードの上だった。ジャックはその足で恋人サリーを訪ねた。だが彼女は すでに結婚してしまっていた。マットとジャックとリロイの3人は、とうとう帰らぬ人となってしま

ったワクサーの墓の前で酒をくみ交し、泣いた。そして闇の中を それぞれの道を歩きながら別れた。彼らは皆口には言わなかった ももの、あの無鉄砲な青春時代の終りを、それぞれの心に感じてい

1974年春《ビッグウェンズデー》

遂に、彼らが待ちに待ったその日が来た。マットはベア特製の ロング・ボードをかかえ、浜辺におり立った。警官たちの警告を 無視し、多くのサーファーたちが挑戦してはじき飛ばされている。 懐かしい青春の浜辺にはジャックとリロイが待っていた。昔と同じ だ。黙って顔を見合せるだけで言葉はいらなかった。とうとう俺 たちの青春のけじめの日が来たのだ。3人はサーフ・ボードに乗 って波に向った。

> ■今、人気急上昇!話題のヒット・メロディ! 《ビッグ ウェンズデー》サウンドトラック盤 "心に海を――ザ・ワールド・シー" 〈ワーナー・パイオニア・レコード〉





若さの責任を堂々とになう ナイスガイ……ジャック

パティ・ダーバンビル



ジャックの恋人……サリー











ジャン・M・ビンセント

ロングボードの王者…マット

おかしなマゾヒスト…リロイ

リー・パーセル

ゲーリー・ビジー

4月下旬コールデン・ワイークリョウ 地下鉄東銀座下車 日 東 場 完 備 月 1

*特別鑑賞券1000円 (当日一般¥1300の処)発売中! 日・祝 特別鑑賞券1000円 (当日一般¥1200の処)発売中!